



■有効成分 テブコナゾール10.0% マンゼブ66.5%

殺菌剤分類3殺菌剤分類M03

毒性:普通物(毒物・劇物に該当しないものを指していう通称)

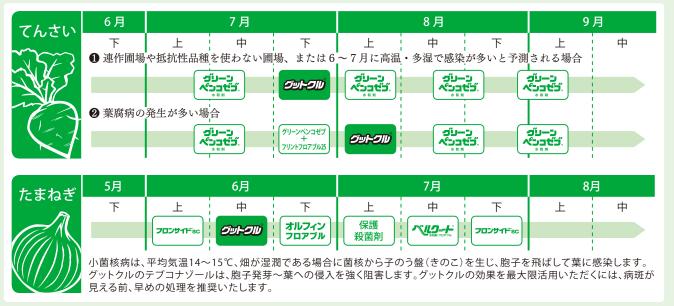
特長

- ▶予防効果が高く、付着性、耐雨性に優れていますので、安定した効果が期待できます。
- ●テブコナゾール(DMI剤)、マンゼブの混合化により、安定した防除効果を示します。

## ■ 適用および使用方法 (2022年8月現在)

作物	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	テブコナゾールを 含む農薬の 総使用回数	マンゼブを 含む農薬の 総使用回数
たまねぎ	べと病 小菌核病 灰色かび病 灰色腐敗病	500倍	100~300∉ /10a	収穫 <b>3</b> 日前まで	3回以内	_ 散布	<b>3</b> 回以内	_ 5回以内
てんさい	褐斑病 葉腐病			収穫 - <b>21</b> 日前まで	2回以内		<b>2</b> 回以内	
	褐斑病	125倍	25 ℓ/10a					

## ■ 防除体系(例)



## 注意事項

● 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきって下さい。 ● 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけて下さい。 ● ボルドー液との7日以内の近接散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけて下さい。 ● 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。 ● 極端な高温多湿条件下では、軟弱幼苗に薬害のでるおそれがあるので注意して下さい。 ● 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節して下さい。 ● 周辺農作物に対して薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合はかからないように注意して下さい。 ● 教釈倍数125倍散布で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用すること。 ● 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意して下さい。 特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。 ● 誤飲、誤食などのないよう注意して下さい。 誤りて飲み込んだ場合には、吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。 ● 本剤は関に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には関に入らないよう注意して下さい。 ● は市液調製時の指導を受けて下さい。 ● 本剤は関に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には関に入らないよう注意して下さい。 ● 大きを受けて下さい。 ● 本剤は関に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には関に入らないよう注意して下さい。 ● 大きを受けて下さい。 ● 大きを受けて下さい。 ● 大きを受けて下さい。 ● 大きを受けて下さい。 ● 大きを受けて下さい。 ● 大きを使用して下さい。 ● 大きを使用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。 ● かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物との接触をさけて下さい。 ● 夏期高温時の使用をさけて下さい。 ● 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきって下さい。 ● 大きないよう適切に処理して下さい。 ● 全容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。 ● 高温下及び湿気を吸うと有効成分のうちマンゼブが分解して効力が低下するので、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

■ 使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ■ ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ■ 小児の手の届く所には置かないで下さい。

F22.9.5T



VCHECK!/